

# WebClass

日本の大学のニーズに応えるe-Learning システム

## WebClass便利な機能のご紹介

WebClassは、教材をWeb上で展開することで  
迅速なデータ処理やデータ管理を可能にする授業支援システムです



画面がメニュー選択式で  
操作がとても簡単です

普段インターネットを閲覧する時と同じ  
感覚で操作できます。

TA/SAを指名して、教材作成や成績管理  
業務を分担して行うこともできます。

1つの機能から利用できます

ニーズに応じた様々な機能をご用意  
いたしました。

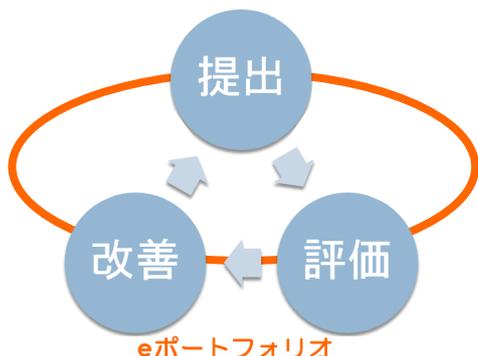
資料配布、出席確認、テスト、掲示板  
やメッセージなど講座の運営に役立つ  
ツールばかりです。これらの中から必要  
な機能だけをメニュー選択し、シンプル  
にご利用いただくこともできます。

学習環境を選びません

Chrome , Internet Explorer , Firefox ,  
Safari など、様々なブラウザに対応して  
います。また携帯電話やスマートフォン  
およびタブレットからも利用できます。

学生支援に役立つ仕組みを、  
ツールとして提供します

学習カルテフォルリオは、「就職支援」  
や「教職履修管理」などで有効活用がで  
き、eポートフォリオ（オプション）は、  
評価と改善の繰り返しによる「自立学習  
促進」の効果を生み出します。



### 目次：

資料教材	2
テスト教材	4
会議室(掲示板)	6
レポート回収	7
成績管理	9
出席確認	11
学習カルテフォルリオ	12
eポートフォリオ	13

## 豊富な対応ファイル

WebClassで利用できるファイルの種類は多様です。資料教材をはじめ以下の教材でデータファイルを扱うことができます。

資料教材  
 テスト/アンケート教材  
 レポート  
 学習カルテフォリオ  
 eポートフォリオ（オプション機能）

資料教材、テストの問題文や解説文を作成する時に、音声や動画のファイルと一緒に取り込めば、リスニングテストや、映像資料の閲覧ができる教材が作成できます。

また、HTMLやPDFに変換できないファイルを添付できます。例えば、プログラミングファイルや、容量が大きいため圧縮したデータファイルは、添付することでやり取りが可能になります。

学生は、添付されたファイルをダウンロードし、プログラムから開いて利用することになります。

The screenshot shows two overlapping windows from the WebClass system. The foreground window displays a video player with a cityscape background and a play button. The background window shows a listening test question: 'When does the conversation take place?' with four multiple-choice options: 'In the morning', 'Around midday', 'In the late afternoon', and 'At night'. A progress bar and a '戻る' (Back) button are also visible.

音声ファイルを使用したテスト教材

動画ファイルを使用した資料教材

### 対応ファイルの一覧

Word



HTML



Excel



Text



PDF



TeX



PowerPoint



音声ファイル

WAV  
MP3

画像ファイル

BMP  
JPEG  
GIF  
PNG

動画ファイル

WMV  
MOV  
mp4  
mpg  
Avi  
Flv  
swf

圧縮ファイル

zip  
Tar.gz

OpenOffice.org

Writer  
Calc  
Impress

その他

Flash  
ChemBioDraw  
ChemBio3D  
HotPotatoes  
SCORM1.2/2004

## 資料教材を作成する

### ◆ 既存の教材を活かす

WordやExcel、PowerPointなどを使って作成したお手持ちの教材を、ボタンひとつでHTMLやPDF形式のWeb教材に変換します。資料作成画面でデータファイルを指定するだけの簡単操作です。

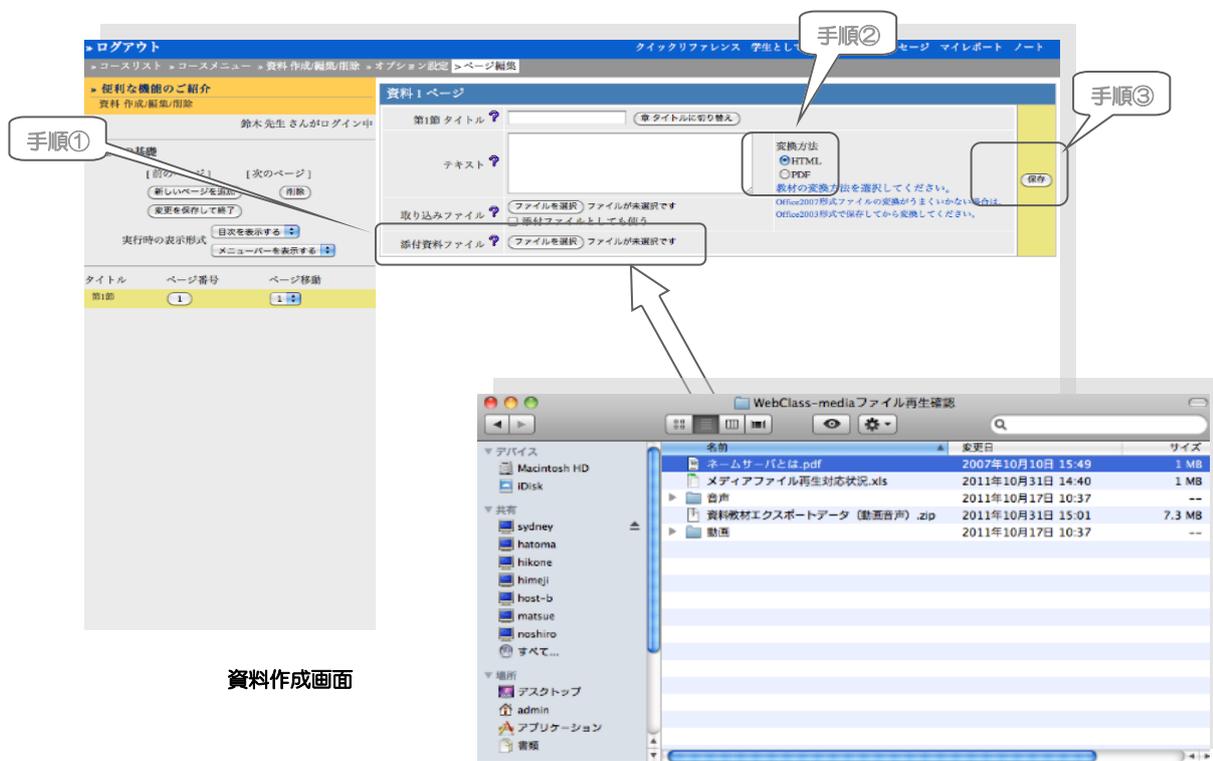
手順① 取り込むファイルを指定

手順② 変換方式を指定

手順③ [保存] ボタンをクリック

### ◆ 使い慣れたソフトで作成して取り込む

WordやExcelがお使いいただければ新しい知識は必要ありません。どなたでも簡単にWeb教材を作成できます。取り込んだファイルは、レジュメなどの公開資料、テストの問題文や解説文として使用できます。画像や表、リンクアドレスを組み込んだ教材の作成も可能です。

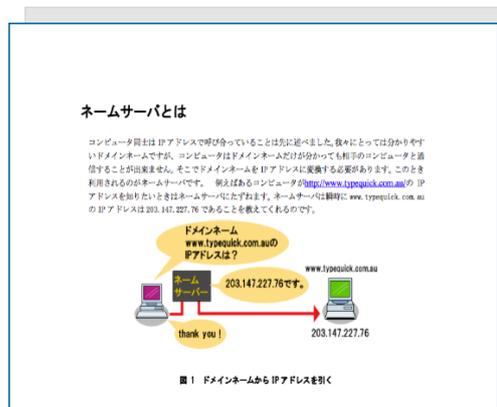


資料作成画面

従来、紙ベースで配布していた資料やレジュメなどをWeb化することにより、資料配布のために時間を使う必要がなくなります。

また、配布のタイミングに合わせた教材の提供が確実にできるようになります。後から資料を追加する場合や、欠席した学生に配布する場合にも対応しやすくなります。

学生は、資料の管理が効率的に行えます。



資料閲覧画面

## テストやレポート教材を作成する

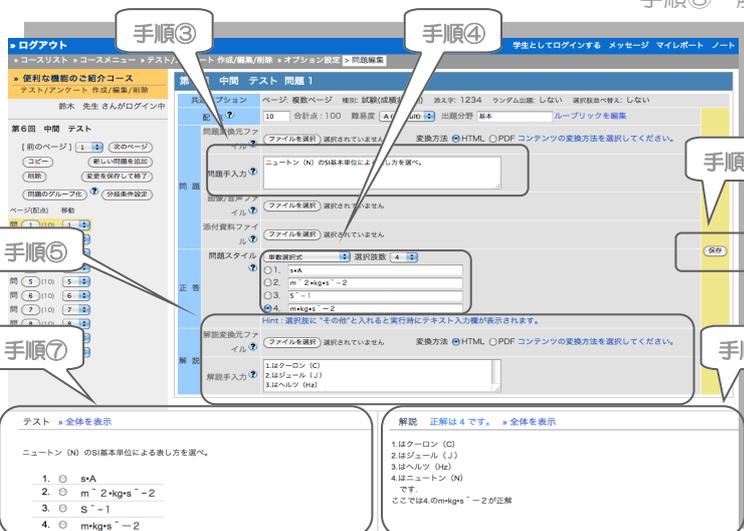
テスト、アンケート、レポート提出課題など、学生からのレスポンスがある教材を作成する方法は2通りあります。

ひとつは、対話型の画面で作成する方法です。メニューから条件や形式を選択し、プレビューで確認しながら作成できるので、専門的な知識は必要ありません。もうひとつはファイルに構築した設問データを一括で取り込む方法です。作成できる教材の種別には、

- 自習用（成績公開）
- 試験（成績非公開）
- 一問一答・・・一問ごとに正解と解説を確認でき、資格試験の過去問などに適しています
- アンケート
- レポート があります。



テストのオプション設定画面



テスト問題作成画面

### 運用に沿った設定が可能

#### ◆利用できるメンバーを限定する

個人、またはグループを指定して、教材を実行できるメンバーを限定することが可能です。

#### ◆ランダム出題

設問をあらかじめ多めに用意しておいて、その中からランダムにピックアップして出題することが可能です。過去問が大量にある資格試験受験対策の演習教材は、この機能を使うと効率的に作成できます。

#### ◆受講期間、実行回数制限

教材を開始できる日時や実行回数制限を指定します。

#### ◆設問や選択肢の並び替え

カンニングを防止するには、設問や選択肢の並び順をランダムに変更するよう指定します。

◆他にも様々な設定ができます。

### テスト教材の作成手順

- 手順① 教材の名前を付けます
- 手順② 教材全体に関する設定を行います
- 手順③ 問題文の入力
- 手順④ 設問のスタイルを選択
- 手順⑤ 解説文を入力
- 手順⑥ [保存] ボタンをクリック
- 手順⑦ 設問のプレビューを確認
- 手順⑧ 解説のプレビューを確認

左の例はドロップダウンスタイルの設問です



## ◆ 多様なスタイルのテスト教材

設問のスタイルを多数用意しましたので、先生の意図やイメージにぴったりのテストが作成できます。★印のついたスタイルでは、ひとつの設問の中に複数個の問いを作成でき、設問に指定した配点を自動的に分割して採点します。

### 【単数選択式スタイル】

ニュートン(N)のSI基本単位による表し方を選び。

- s・A
- $m^2 \cdot kg \cdot s^{-2}$
- $S^{-1}$
- $m \cdot kg \cdot s^{-2}$

複数の選択肢からひとつだけ選択できるスタイルです。択一式の問題に利用できます。(自動採点)

### 【複数数選択式スタイル】

次のうち非保存力であるものはどれか。  
複数の中から2つ答えよ。

- 動摩擦力
- 重力
- 粘性抵抗
- ばねの弾性力

選択肢の中から複数の答えを選択できるスタイルです。全ての選択肢について正解しないと得点になりません。(自動採点)

### 【レポート提出スタイル】

物理学を学ぶにあたって大切なことは何か、簡潔に三点以上述べよ。

設問1つにつき1つの課題ファイルを提出できます。同じ設問に提出すると提出済みのファイルはキャンセルされます。ファイルサイズは10MBまでです。

レポートのファイルを指定して提出させるスタイルです。記述内容が表示された採点画面で、先生が個別の採点を行います。

### 【ループリックスタイル】★

次の数式の中で正しい公式にチェックを入れよ。

S=時間 1/s=周波数 V=速度  
M=質量 a=加速度 F=力  
m=距離 W=仕事

	1. V	2. 1/S	3. S	4. M
S	<input type="radio"/> $V \times S = m$	<input type="radio"/> $1/s \times s = F$	<input type="radio"/> $S \times S = M$	<input type="radio"/> $M \times S = V$
V	<input type="radio"/> $V \times V = a$	<input type="radio"/> $1/s \times V = a$	<input type="radio"/> $S \times V = F$	<input type="radio"/> $M \times V = S$
a	<input type="radio"/> $V \times a = S$	<input type="radio"/> $1/S \times a = W$	<input type="radio"/> $S \times a = F$	<input type="radio"/> $M \times a = F$
F	<input type="radio"/> $V \times F = W$	<input type="radio"/> $1/S \times F = V$	<input type="radio"/> $S \times F = W$	<input type="radio"/> $M \times F = S$

授業評価で使われるループリック形式と同じスタイルです。コメント入力欄を設けることもできます。(自動集計)

### 【選択肢のみスタイル】

持ち物も含めた質量Mの人間が宇宙空間に静止している。いま、質量Δmの荷物を速度vで投射し、この反動で人間は動き出した。このとき人間の速度Vはいくらか。  
以下の選択肢の中から答えよ。

- $V = \Delta m v / M$
- $V = -\Delta m v / M$
- $V = \Delta m v / (M - \Delta m)$
- $V = -\Delta m v / (M - \Delta m)$

1.  2.  3.  4.

問題文中に選択肢を記述するスタイルです。画像を問題文に挿入することで、選択肢が画像の設問を作成することが可能になります。(自動採点)

### 【レベル選択スタイル】

配布資料は参考になりましたか？

なった  4  3  2  1  ならなかった

アンケートでよく使われるスタイルです。(自動集計)

### 【マッチングスタイル】★

次の語句から関連する言葉を並び正しい語句を完成させよ。

- |        |   |     |
|--------|---|-----|
| (1) 回転 | > | 未解答 |
| (2) 自由 | > | 未解答 |
| (3) 減衰 | > | 未解答 |
| (4) 微分 | > | 未解答 |
- 01 運動  
02 落下  
03 振動  
04 方程式

左側にマッチする正しいものを、右側の選択肢から選びます。(自動採点)

### 【表形式スタイル】★

次の表で正しいと思われる所にチェックを入れよ  
ただしチェックが入らない場合があるので注意すること

	1. 保存力	2. 非保存力	3. 速度
動摩擦力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
重力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

縦軸と横軸の対応で選択させるスタイルです。アンケートに使うこともできます。(自動集計)

### 【単語数値入力スタイル】★

[1] 水平な床にばね定数kのばねS1とS2を横たえて左端を固定し、右端にはそれぞれ質量mと2mの物体をつけた。これらのばねが単振動するときばねS1の周期はばねS2の周期の何倍か。

[2] 水平な床にばね定数kのばねS1とS2を横たえて左端を固定し、右端には質量mの物体をつけた。t=0において、自然長よりそれぞれA, 2Aだけ伸ばして手を離して単振動させるときばねS1の振動数はばねS2の振動数の何倍か。

回答例  $\sqrt{1/3}$ 倍、2倍。

- (1)   
(2)

英単語や計算結果の数値を入力させるスタイルです。先生が正解として指定した文字列と比較して合っていれば点数が与えられます。(自動採点)

### 【ドロップダウンスタイル】★

以下の問いにおいて、重力加速度をgとする。

[1] 鉛直方向上向きをy軸の正の向きとし、位置y<sub>a</sub>を基準点にとるときの、地表(y=0)における質量mの物体の重力によるポテンシャルエネルギー-U<sub>0</sub>を答えよ。

[2] 鉛直上向きに投げ上げられた質量mの物体が、最高点y=y<sub>a</sub>に達した後、落下してy=y<sub>b</sub>にあるときの重力によるポテンシャルエネルギー-Uを答えよ。ただし、鉛直上向きをy軸の正の向きとし、地表(y=0)を基準にとる。

- (1) 未解答  
(2) 未解答
1. U=-mg<sub>y</sub>  
2. U=-mg  
3. U=0  
4. U=mg

あらかじめ回答の候補をリストとして表示しておき、正しいものを選択する方式です。穴埋め問題にも利用できるスタイルです。(自動採点)

### 【順序付けスタイル】★

エネルギーの移り代わり

A君は大きな重い箱を高い位置に持ち上げました。その箱を摩擦のある斜面に置き滑らせました。滑らせた箱は摩擦によって止まりました。その滑らせた熱でモータを動かし発電しました。このエネルギーの移り変わりを順番通りに並べよ。

- (1) 未解答 電気エネルギー  
(2) 未解答 運動エネルギー  
(3) 未解答 熱エネルギー  
(4) 01 位置エネルギー  
02  
03  
04

ばらばらになった要素を正しい順序に並び変える問題です。(自動採点)

### 【記述式スタイル】★

次の問題を解くために必要なことをキーワードを用いて述べよ。

初速Vでボールをなるべく遠くに投げたい。どのような角度で投げればよいか。  
ただし空気抵抗は考えないものとする。(重力加速度g)  
キーワード: 速度分解, y成分の速度, x成分の速度。

字数制限: 1000字まで

機種依存文字は使用しないでください。

0文字 あと1000文字です

テキストボックス内に自由に内容を記述できます。

## 会議室（掲示板）を作成する

### ◆ コミュニケーションの場を提供

少人数で学習する場を、教材のひとつとして作成できます。先生と学生、学生同士をつなぎ、グループ学習で活躍する機能です。

会議室教材には、掲示板、Wiki、チャットの3種類があります。

掲示板で意見や情報を交換し、WIKIへの書き込みで成果物を共同作成できます。チャットではリアルタイムでの会話が可能なので、実際のコミュニケーションに限りなく近い環境をWeb上で実現します。

右で示した例は、掲示板でのやり取りの画面です。掲示板にテーマを設定して、議論の場として利用すれば、ゼミ室を再現したような教材となります。先生は学生と同じ立場で会議室教材に参加することもできますし、管理者として記事の削除などを行うこともできます。



掲示板画面

確認した記事と未読の記事を区別する機能があり、たくさんの投稿にも対応できます。

## ユニット教材を作成する

### ◆ 教材を組み合わせて学習の流れを設計

- ≫ 小テストを行い、合格点に達した学生のみ次の学習に進ませる
- ≫ 学習終了後に必ずアンケートを提出させる
- ≫ 毎回、「前回予習問題の解説、レジュメ、予習問題」をセットにして配布する など

数種類の教材をまとめて配布し、しかも実施する順番の周知徹底が必要なものはありませんか。教材を組み合わせた上に実施順序を指定する機能を使えば、先生が指示を出したり、タイミングを計って配布したりする必要がなくなります。



ユニット教材作成画面

作成画面の左側に表示された教材の一覧から教材を選択するだけで、ユニット教材を作成できます。選択された教材の並び替えを行うことで展開の順序を指定できます。学生がメニューから教材を選択すると、先生の考えた通りの流れで教材が展開されます。

## レポートを回収する

### ◆ どこからでもレポート提出可能

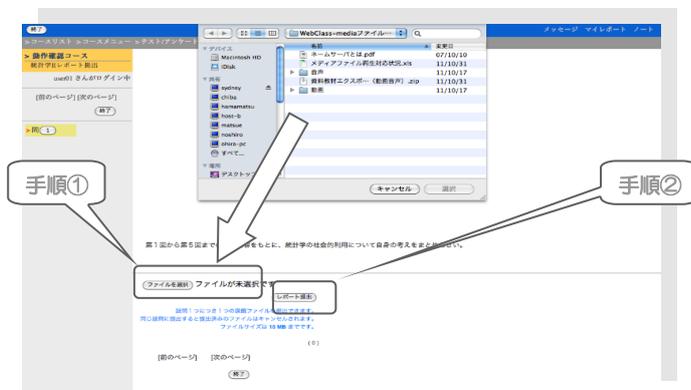
学生は、課題教材の画面でレポートを提出します。同じ課題に再度提出することも可能です。

手順① 設問を確認し、提出ファイルを指定する

手順② 「レポート提出」ボタンをクリックする

どの課題に対するレポートであるか、誰が誰に提出するかといった情報を添付する必要はありません。

WebClassシステムが、提出者（学生の氏名やID）と提出先（各設問）の情報を基に、提出物を受け取り、管理します。



レポート提出画面

### ◆ レポートの仕分け、整理をボタンひとつで

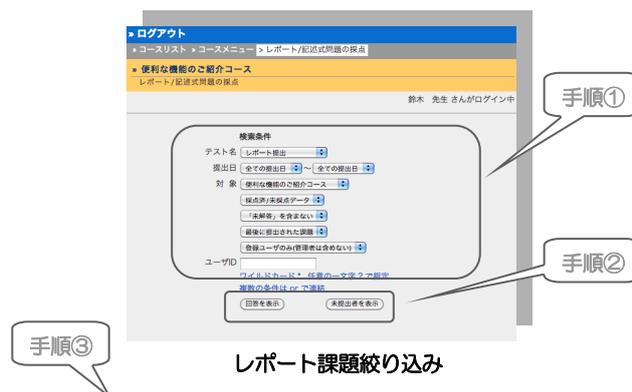
課題ごとにレポートを収集し管理する機能です。先生は、提出者一覧から対象者を選択して採点業務を行ってください。大量の提出物を仕分けする煩雑な作業をWebClassが行います。

百人単位の学生からレポートが提出される課題が複数の種類あったとしても、課題名や提出期間、受講生のIDといった条件を設定して絞り込むと、探しているレポートに迅速にたどり着けます。

手順① ドロップダウンのメニューから選択して条件を設定します

手順② 条件を設定したら「[回答を表示]」ボタン、または「[未提出者を表示]」ボタンをクリック

手順③ レポート提出者一覧画面、または未提出者一覧画面が表示されます



レポート課題絞り込み

対象件数 8 件  
 ※成績データのダウンロード  
 ※レポートをまとめてダウンロード(zip)

回答を一覧で表示 採点結果の読み込み 参照... 読み込み

Mail	採点	コース	氏名	ユーザID 数字部分	レポート	提出日	成績	点数	合計
<input checked="" type="checkbox"/>	採点	便利な機能のご紹介コース	小林 弘子	student8	Q.1 物理学課題.docx	2013-08-16 17:59:18	未	0	0
<input checked="" type="checkbox"/>	採点	便利な機能のご紹介コース	鈴木 早苗	student7	Q.1 レポート提出課題.docx	2013-08-16 17:58:47	未	0	0
<input checked="" type="checkbox"/>	採点	便利な機能のご紹介コース	北田 結	student6	Q.1 物理学課題.docx	2013-08-16 17:58:25	未	0	0
<input checked="" type="checkbox"/>	採点	便利な機能のご紹介コース	村永 直行	student5	Q.1 提出レポート.docx	2013-08-16 17:57:55	未	0	0
<input checked="" type="checkbox"/>	採点	便利な機能のご紹介コース	内田 裕子	student4	Q.1 レポート提出課題.docx	2012-11-27 10:54:47	○	17	17
<input checked="" type="checkbox"/>	採点	便利な機能のご紹介コース	山田 太郎	student3	Q.1 物理学レポート第1回提出.docx	2012-11-27 10:54:21	○	15	15
<input checked="" type="checkbox"/>	採点	便利な機能のご紹介コース	佐藤 花子	student2	Q.1 物理学を学ぶ上で大切なこと.docx	2012-11-27 10:53:58	○	17	17
<input checked="" type="checkbox"/>	採点	便利な機能のご紹介コース	木村 由紀子	student1	Q.1 物理学レポート.docx	2012-11-27 10:53:28	○	8	8

0 sec

レポート提出者一覧画面

### ◆ 督促のメッセージを一齐送信

未提出者を一覧表示し、一括で督促の連絡を行うことができます。

手順① 一覧表の左側のチェックボックスをOn/Offして、督促メッセージの発行先を指定します

手順② [Mail] ボタンをクリック

手順③ 宛先に督促発行先が自動的に設定された状態で、メッセージ作成画面が表示されます

## レポートを採点する

### ◆ 添削内容のフィードバック

提出されたレポートは、先生がダウンロードして確認し、評価点をつけます。客観的な評価を行うためにルーブリックを使うことも可能です。評価点は、成績データとして記録されます。

学生は、先生が入力したコメントを成績一覧画面で確認します。

ひとりひとりに丁寧な指導を行いたい場合には、添削データを作成して送信できます。

The screenshot displays the 'Report Grading' interface. At the top, there are search filters for reports. Below that, a table lists reports with columns for 'Course', 'Student Name', 'Report Title', 'Submission Date', 'Score', and 'Status'. A 'Comments Input' (コメント入力欄) callout points to the 'Comments' column. Below the table, a 'Grading Results Input' (採点結果入力欄) callout points to the 'Score' column. On the right, a rubric table is visible with columns for 'Evaluation' (評価) and 'Score' (採点). The rubric includes categories like 'Content' (内容) and 'Structure' (構成) with various evaluation options.

レポート採点画面

### ◆ 考察を深める相互評価

学生間でレポートや自由記述の回答を評価し合う協調学習機能です。通常、レポートは先生が採点しますが、学生間で評価しあうことで授業への参加意欲が高まるとともに、他人のレポートを見ることが自己の評価につながり、学習効果が高まるのが期待されます。

相互評価は匿名で行われ、学生の画面からは誰のレポートを評価しているのかは分かりません。評価する学生は評価点とコメントを入れることができ、評価された学生は、自分自身にどのような評価が付いているのか、全体の中でどれくらいの位置にいるのかが分かります。

先生は、誰が誰のレポートに対しどのような評価を行ったのかを確認することができます。

### ◆ 再提出のお知らせ

レポートの内容を確認した後、再提出させる必要がある場合に、再提出が必要である旨と期限のお知らせを学生の受講画面に表示させる機能があります。

レポートの採点画面の下方に、下図の入力フォーマットが表示されます。

#### 再提出が指示されています

再提出期限 2013/09/10 Tue

Hint:再提出を許可すると、お知らせメッセージが学生に送信されます。  
Hint:再提出を許可すると課題の日時制限を過ぎていても提出が可能です。  
Hint:再提出指示をキャンセルすると、お知らせメッセージが学生に送信されます。

再提出の指示を設定する画面

## 集計した成績を管理する

### ◆ 自動集計してわかりやすく画面表示

WebClassがテストを自動採点し、先生が採点したレポートの得点とともに多角的な集計データを自動的に作成します。

問題別、分野別、個人別に、「平均得点」「最大得点」「最小得点」「中央点」「標準偏差」などを表示するだけでなく、合格点に達していない学生の得点は赤字表示します。

未提出者を白紙回答者扱いとして集計して平均得点を出すこともできます。

集計データはCSV形式でダウンロードできるので、データを何年分も保管したり、先生独自の加工を施したりすることも可能です。

学生の一覧

### 成績一覧 - 便利な機能のご紹介コース

表示切り替え (平均得点) (最大得点) (最小得点) (合計得点)  
[+] 絞り込み検索

#### 最大得点一覧

集計日時 2013-07-24 16:58:40, 集計期間 2013-4-5 から 2013-7-24  
この表をダウンロード

氏名	ユーザID 数字部分	Hot Potatoes						合計
		SCORM教材	レポート提出	復習問題	第6回 中間 テスト	自習用教材		
田中 裕子	sample10	未	未	未	未	未	0	
小田 ゆかり	sample11	未	未	未	未	未	0	
谷村 美奈子	sample12	未	未	未	未	未	0	
石野 茂	sample13	未	未	未	未	未	0	
山田 芳弘	sample14	未	未	未	未	未	0	
坂井田 豪	sample15	未	未	未	未	未	0	
高橋 ひとみ	sample16	未	未	未	未	未	0	
細尾 弘子	sample17	未	未	未	未	未	0	
江部 崇	sample18	未	未	未	未	未	0	
矢野 あけみ	sample19	未	未	未	未	未	0	
木村 由紀子	student1	未	未	未	[37]	未	37	
佐藤 花子	student2	未	未	未	[90]	[67]	157	
山田 太郎	student3	未	未	未	未	未	0	
内田 裕子	student4	未	未	未	未	未	0	
村永 直行	student5	未	未	[20]	未	[85]	[57]	162
北田 結	student6	未	未	[12]	未	未	未	12
鈴木 早苗	student7	未	未	[20]	未	未	[65]	85
小林 弘子	student8	未	未	[12]	未	未	未	12
大友 まゆみ	student9	未	未	[9]	未	未	未	9
受講者の平均得点/配点	-/-	/10	14.6/20	-/30	70.7/100	63/100	148.3/260	
全体の最大得点/最小得点	-/-	-/-	20/9	-/-	90/37	67/57	-	

教材の一覧

成績一覧画面

### ◆ 自動採点と集計機能で学生の理解度を判断

個人ごとの成績画面では、学生ひとりひとりについて、詳細なデータを確認できます。

成績が公開されている教材であれば、学生も自分の得点と相対位置を確認でき、同時に各設問についての解説を確認することができます。「間違えたところをそのままにせず、集中的に学習し直す」ための材料として利用できます。

定期試験など、採点内容が公開されない教材であっても、合計点だけを学生が確認できるようにすることができます。

設問の一覧

得点分布グラフ

個人ごとの成績画面

設問の一覧

設問	解答	得点配	採点	結果
1 4		0	10/10	Check
2 1,3		0	10/10	Check
3 実数集 R	x	5/10	Check	採点
4 1)実数 R, 2)有理数 Q, 3)実数 R	未	0/10	Check	採点
5 1,6,10	x	6/10	Check	採点
6 3	x	0/10	Check	採点
7 3,1,2,4	x	2/10	Check	採点
8 4,3,2,1	x	5/10	Check	採点
9 非保存力,保存力		0	10/10	Check
10 VeDim, LinVim, MeanF, ...		0	10/10	Check

得点分布グラフ

解説 正解は 4 です。 \* 全体を表示

- 1はランダム
- 2はランダム
- 3はランダム
- 4はランダム

ここで4.0mSteps - 2が正解

## 成績データを活かす

### ◆ 多角的な集計の種類

学生全体に関するデータには次の種類があります。

#### 教材単位

平均得点・最大得点・最小得点

#### 分野単位

平均得点・最大得点・最小得点・合計得点

#### 設問単位

正答率・最大解答時間・最小解答時間・  
平均解答時間

#### 選択肢単位

該当選択肢を選択した回答者数と氏名

学生ひとりひとりに関するデータには次の種類があります。

#### 教材単位

実施回数・実施時間の合計

複数回実施した場合の

平均得点・最大得点・最小得点・合計得点

回答日・回答時刻・得点・偏差値

#### 分野単位

得点・正答率

#### 設問単位

回答内容

### ◆ 教材のバージョンアップや個別指導に利用

問題別、分野別の正答率や回答時間を集計したデータを分析すれば、学生の理解度と問題の難易度が、判断できます。

- ≫ 配布物の追加
- ≫ 授業時間配分の変更
- ≫ 得点調整のための配点し直し

などの際に、客観的な検討材料として、分析結果を利用できます。

さらに、各設問に関する詳しい分析を行う場合には、選択肢ごとの回答者数を表示すれば、「どのような間違いをした学生が多かったのか」といった誤答の傾向を把握でき、そのデータは検討の材料となります。

特定の選択肢を回答した学生を一覧表示して確認し、個別に指導することもできます。

分析結果	平均値 [52.00]	最大値 [77.00]	最小値 [33.00]	中央値 [49]	標準偏差 [19.71]
問題番号	正答率	最小解答時間	平均解答時間	最大解答時間	結果
1	75%	2.0秒	3.8秒	5.0秒	<a href="#">Check</a>
2	75%	4.0秒	4.8秒	5.0秒	<a href="#">Check</a>
3	75%	6.0秒	13.2秒	27.0秒	<a href="#">Check</a>
4	0%	6.0秒	32.5秒	64.0秒	<a href="#">Check</a>
5	25%	8.0秒	10.2秒	12.0秒	<a href="#">Check</a>
6	25%	3.0秒	4.0秒	6.0秒	<a href="#">Check</a>
7	0%	8.0秒	20.5秒	55.0秒	<a href="#">Check</a>
8	25%	7.0秒	10.8秒	16.0秒	<a href="#">Check</a>
9	25%	2.0秒	3.8秒	5.0秒	<a href="#">Check</a>
10	50%	5.0秒			

問題ごとの分析結果

詳細を表示する設問を選択

正答	解答	回数	氏名
	1	0	<a href="#">表示</a>
	2	0	<a href="#">表示</a>
	3	1	<a href="#">表示</a>
○	4	3	<a href="#">表示</a>
	未解答	1	<a href="#">表示</a>

[3]を選択したユーザ

Mail	氏名	回数
<input checked="" type="checkbox"/>	内田 裕子	1

解答の詳細（選択肢ごとの回答者の表示）

## 出席を取る

### ◆ 教室での運用に近い設定が可能

学生に出席データを送信させることで、出席を取ることができます。

「授業開始後××分以降は遅刻扱い」といった細かい設定ができるので、教室と同じルールで出席確認ができます。公欠や病欠などのレアなケースを柔軟に調整する機能もあります。

### ◆ 大人数の出席確認もSpeedy

学生から送信された出席データを受信する方式ですから、大人数の学生の出席確認が可能です。授業形態が多様化する中、学生数の増加に対応した体制をサポートします。

### ◆ 一般教室でも出席確認ができる

携帯電話やスマートフォンなどのモバイル端末から出席データを送信させれば、一般教室でも出席確認が可能です。先生は出席確認に時間を取られることがありません。授業は今までどおりのやり方でいい、出席管理やレポートの提出の部分だけWebClassでスマートに実施することも可能になります。



スマートフォンで出席データ送信

メッセージの確認

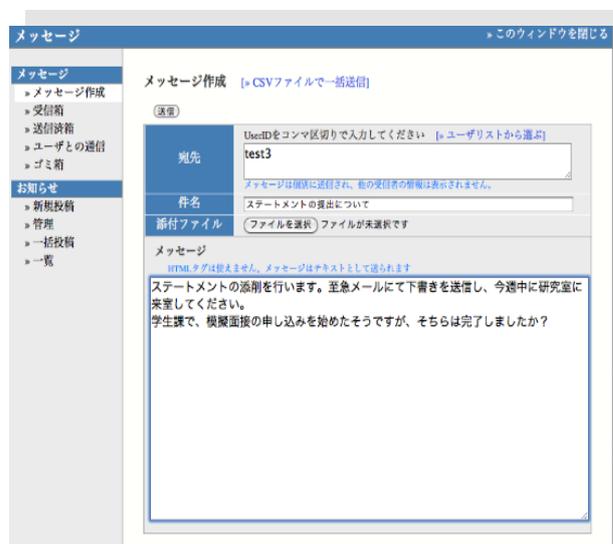
## メッセージを送信する

### ◆ タイムリーで確実な告知

先生が学生に連絡を行う場合の機能に、「お知らせ」と、「メッセージ」があります。

「お知らせ」を発行できるのは、システム管理者と先生です。発行先として学部学科や権限を指定して、複数の学生に一斉に連絡をすることができます。休講やシステムの保守、教務連絡に使います。

「メッセージ」を送信できるのは、IDを持つシステム管理者、先生、学生全員です。送信先としてユーザ名やIDをひとつまたは複数指定できます。個別に「面談日程変更の連絡」をしたり、複数の図書未返却者に「図書返却の督促」を送信したりする使い方が可能です。送信先が多数の場合には、CSV形式で用意したファイルデータを使うことができます。連絡を確実に行うために、学生が読んだかどうかを先生が確認できる機能もあります。



メッセージ作成画面

### ◆ 個別の質問や相談に応じる

メッセージは学生から先生へも送信できます。メールアドレスでなく氏名やIDでやり取りでき、先生のスケジュールを考慮しなくても送信できるので、学生は質問や相談がしやすくなります。

## 学習カルテフォリオを利用する

### ◆ 情報を公開し共有する場

就職指導や教職履修カルテで活用されるのが学習カルテフォリオの機能です。学生ひとりひとりの情報をWebClassに構築し、コースを跨いで学生と教職員間で情報を共有することができます。

例えば、教員資格取得を目指す学生をサポートするためのツールとして学習カルテフォリオの活用が期待できます。実習校からのお知らせや実習内容の報告、書類のやり取りやスケジュールの調整など、頻りに担当者と連絡を取り合う必要があります。しかも担当者はひとりではなく、ゼミの教員や教職サポートの職員ら、複数人が同時に情報を共有することが可能になります。学習カルテフォリオに登録された記録を担当者全員で共有することで、学生の活動状況を容易に把握することができ、より早的確な指導が可能になります。

学生は、実習等で遠隔地に出向いている場合でも、パソコンやスマートフォンを利用して学習カルテフォリオを利用できるので日々の活動状況を迅速に更新し共有できます。

### ◆ きめ細やかな学生指導を実現

また、就職活動準備期間中に学生からの相談に対して、学習カルテフォリオに蓄積された学生の履修履歴情報や課外活動、資格取得、インターンシップなどの個々の情報を参考にしながら適切に進路指導を行うことができます。

質問相談用に設定した項目に新たな記入があった場合には、登録したメールアドレスに返答があった旨の連絡を行えるので、担当者と学生間でタイムラグなしにコミュニケーションが図れます。

### ◆ 次年度以降へのデータ活用

学習カルテフォリオの内容をダウンロードする機能を使えば、教育実習やインターンシップの報告書として、貴重な資料となります。教職支援、就職支援の部署でデータベース化して次年度以降の学生のために利用する使い方も考えられます。

学習カルテ

2013-05-05 16:12:54 このウィンドウを閉じる

学習カルテ名 [3年次]自己評価及び履修まとめ (link) 次ページ ユーザー一覧に戻る

[1年次]自己評価及び履修まとめ (link) [2年次]自己評価及び履修まとめ (link) [3年次]自己評価及び履修まとめ (link) 活動報告 (面談の記録及び教職に関する活動等) (link)

更新

更新日  
学生ID  
学部  
学科  
学生氏名  
フリガナ

編集 [未解答] 現在この学生は編集ができない「閲覧専用」モードで表示されています。  
全てのメッセージを表示

3年生の履修のまとめ

を行うということは本当に大変なことだと感じた。教材研究を行うだけでは、全く授業の準備は足りないと思った。そして、予想できる生徒の反応も考えながら授業を作成していかなくてはならないということを学んだ。また、時間配分もしっかりと考えておかないと、授業時間内に終了することもあらず授業の時間が足りすぎてしまうということを模擬授業を実践して学んだ。この授業は大変だったが、学ぶことが一番多い授業だった。

	1.全くできていない	2.あまりできていない	3.まあできている	4.よく
【教職の意義】 教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	1	2	3	4
【教育の理念・教育史・思想の理解】 教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	1	2	3	4
【学校教育の社会的・制度的・経営的理解】 学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	1	2	3	4

個人の学習カルテフォリオ (閲覧/入力)

学習カルテフォリオ一覧画面

## eポートフォリオで学習への意欲と意識を変革させる

### ◆ 新しい教育スタイルへの挑戦

WebClass eポートフォリオは、学習者自身の「気づき」を誘発させて『学習者中心』の学習活動と評価活動を可能にする目的で作成された仕組みです。

教員が設定した目標や、評価基準（ルーブリック）に基づいて、提出・評価・改善を繰り返す過程で知識の獲得や能力の向上と共に学習意識を変革する教育効果が期待できます。

#### 自己評価（セルフ・アセスメント）

リテラシーレポート (草稿 候: 2008-07-27 13:45:02)

大項目	小項目	A	B	C	D	E
知識・理解	TeXのコマンドを理解することができた	できた	どちらかというときできた	どちらでもない	どちらかというときできない	できない
	レポートのタイプセットが完了できた	できた	どちらかというときできた	どちらでもない	どちらかというときできない	できない
技能・表現	演習を時間内に完了することができた	できた	どちらかというときできた	どちらでもない	どちらかというときできない	できない
	関心を持ち、意欲的に取り組むことができた	できた	どちらかというときできた	どちらでもない	どちらかというときできない	できない
学習態度・意欲	レポートを期限内に提出することができた	できた	どちらかというときできた	どちらでもない	どちらかというときできない	できない
		○				

#### 評価

コマンドがエラーを出力して悩みまパーセント記号が文書内の TEX コことが出来ました。

#### 評価画面



### ◆ 3種の評価活動が生む相乗効果

評価活動（自己評価、相互評価、教師評価）が学習の一部としてeポートフォリオ活動に組み込まれています。

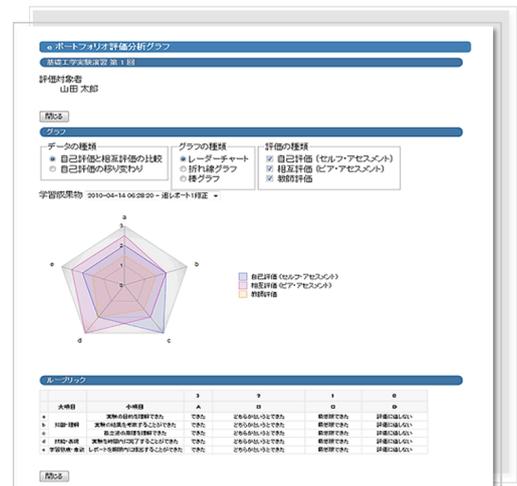
他者の成果物を評価することが、新たな発見をしたり客観的な評価を行うスキルを身につける機会になります。さらにその成果が、潜在的かつ本質的な自己評価に結びつきます。

評価活動が相乗的に学習効果を生み出します。

コンテナの編集画面

### ◆ 自己の成長を実感する

成果物が整然と管理・整頓されているので、長期の学習過程を振り返ることができます。また、自己の成長を数量的に表示する機能があります。



評価分析グラフ

## グループ学習機能を有効に使う

### ◆ eポートフォリオが有効な場面

1つの正解を導き出す分野よりも、考えをまとめ、人を納得させる論理展開・表現能力を身につけることが目的となる分野に適しています。

- 教職模擬授業
- 作文・レポート作成能力の養成
- 社会問題に対する意見
- 経営判断・方針
- 卒論指導

### ◆ 評価内容の公開範囲を指定する

グループ内評価・グループ外評価・教師評価の公開範囲をそれぞれ指定できます。

学習成果物を完成するまでの、アプローチや振り返りの過程を含めた学習の様子を評価させたい場合は、グループ内評価を公開します。

評価者としての視点を養う為に評価を公開する場合もあれば、他者の目を気にしないで評価させるために非公開にする場合もあるでしょう。

運用に沿った細かい設定が可能です。

### ◆ グループ分け作業

全体を把握しやすい対話形式の画面で、グループを設定できます。

授業中に決定したグループ分けをその場で設定するなど、フレキシブルに対応することができます。

### ◆ グループ所有の学習成果物を蓄積する

グループ所有の学習成果物として提出し、管理することが可能です。メンバー全員で案を出し合って学習成果物を完成させるような学習の場を提供することができます。複数メンバーが関わるグループ学習の場で、成果物と評価を関連付けて管理することが容易になります。

提出された学習成果物は、グループ内で評価し合うだけでなく、他のグループのメンバーに公開し評価させる「グループ外評価」によって、更に多角的な視点での評価が行われます。

### ◆ 相互評価を行うグループを設定する

大人数の講座で相互評価をさせたい場合、先生の判断で誰が誰の相互評価をするかを指定することが可能になります。

テーマやアプローチが同じ学生同士を、ひとつのグループにまとめれば、詳細で具体的なコメントが行いやすくなります。

## ショーケースポートフォリオ活用によるメリット

### ◆ ショーケースポートフォリオにできること

ショーケースポートフォリオでは、eポートフォリオ活動を通して蓄積してきた『学習成果物』から、マイルストーン時の成果物や最良の成果物（ベストワーク）とその評価を学生自ら選択し、ショーケースへ移行し再蓄積します。

再蓄積した内容を他の情報媒体へエクスポートできます。

### ◆ 学生が資産として活用する

ショーケースポートフォリオの内容を元に、過去の学習の過程を時系列に振り返ることができます。更に、就職活動や進学準備の場で自己アピールの材料として利用できます。卒業時には、データを取り出して持ち帰れますので、その後のキャリア活動にも役立ちます。

### ◆ 教育活動の成果を可視化する

教育の質向上・質保証の証明が必要になり、カリキュラムや教育方針を各大学ごと、外部へ明示する機会が増えています。また最近はこの教育活動を通して、最終的に学生がどのような知識や能力を得て成果を生み出したか具体的に提示することも必要になってきました。

その際、学習の証になるものがeポートフォリオに蓄積された『学習成果物』と『評価』です。コンテンツごとに設定するゴールやルーブリック（評価基準）を通じて学校が目指す方向を学生に示し、評価結果に反映することができます。

JABEEの認証評価やディプロマポリシー・カリキュラムポリシーなど、各大学における教育方針に合わせた達成度評価の証としての活用も期待されています。



#### 分散コンピューティング研究に携わるまでのポートフォリオ

ユーザ：内田 裕子  
作成：2013-07-24 15:42:40  
更新：2013-07-24 17:48:41

#### 目次

2011	コンピューターリテラシー 最終課題 <a href="#">TeXレポートファイル</a>
2012	プログラミング1 演習：住所録の作成 <a href="#">プログラミング1</a>
2013	分散システムとミドルウェア 中間発表：分散ファイルシステムの構築 <a href="#">発表原稿</a> 期末発表：分散サーバ型システムの机上設計 <a href="#">店舗内提案型電子POPの設計</a>
2014	卒業研究 卒業論文 <a href="#">卒業論文</a>

#### 学習成果物

##### TeXレポートファイル

[ダウンロード TeXレポート.docx \(15620 byte\)](#)

作成：2013-07-24 17:40:02  
コース：コンピューターリテラシー (2011 年)  
コンテンツ：最終課題

#### コメント：

氏名の漢字が文字化けしてしまったので、タイプセットできるようにプラグインを導入しました。

[評価を表示する](#)

##### プログラミング1

[ダウンロード ソースコード.docx \(15631 byte\)](#)

作成：2013-07-24 17:40:34  
コース：プログラミング1 (2012 年)  
コンテンツ：演習：住所録の作成

#### コメント：

サンプルのコードでは配列を使っていたのですが、羅形リストを使うように工夫してみました。

[評価を表示する](#)

##### 発表原稿

[ダウンロード 発表原稿データ.docx \(15637 byte\)](#)

作成：2013-07-24 17:41:01  
コース：分散システムとミドルウェア (2013 年)  
コンテンツ：中間発表：分散ファイルシステムの構築

#### コメント：

調査をグループメンバーと分担して効率よく進めることができました。

[評価を表示する](#)

##### 店舗内提案型電子POPの設計

[ダウンロード 期末発表会原稿データ.docx \(15670 byte\)](#)

作成：2013-07-24 17:41:44  
コース：分散システムとミドルウェア (2013 年)  
コンテンツ：期末発表：分散サーバ型システムの机上設計

#### コメント：

対象顧客をスマートフォン所持者に限ってしまったので、そのことに関する指摘を多く受けました。

[評価を表示する](#)

##### 卒業論文

[ダウンロード 卒論発表会原稿データ.docx \(15681 byte\)](#)

作成：2013-07-24 17:42:16  
コース：卒業研究 (2014 年)  
コンテンツ：卒業論文

#### コメント：

タイトルは、「3G通信網、WiFi通信網現在環境に適合した自律分散ネットワークプロトコルの提案」です。

[評価を表示する](#)

ショーケースポートフォリオ（公開画面）

日本データパシフィック株式会社

<http://www.datapacific.co.jp>